

常総市総合教育会議 会議録（要旨）

【日 時】 平成28年3月23日（水）午後1時～

【場 所】 常総市役所本庁舎庁議室

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 協議
 - (1) 常総市総合教育会議運営要綱（案）について
 - (2) 教育に関する大綱（案）について
- 4 その他
- 5 閉 会

出席者

教育委員：山口大教育長，石塚教育委員長，平井丈史教育委員，川生智子教育委員，石塚教育委員

教育委員会：増田教育部長，染谷学校教育課長，佐藤指導課長

市長部局：高杉市長，加倉田企画部長，長妻企画課長，西村企画調整係長

企画課長 ただいまから、常総市総合教育会議を開催いたします。高杉市長よりご挨拶申し上げます。

市長 本日の教育会議、昨年から教育委員会関係の制度が大きく変わってきています。教育委員会制度は時代を経るごとに少しずつ制度も変化してきていますが、政治と教育の独立がしっかりと保てるよう、今後も運営していきたいと思います。

企画課長 それでは協議に入りたいと思います。市長が議長となっておりますので、協議事項より市長の進行により進めたいと存じます。

市長 それでは、協議に入ります。まず1件目は、常総市総合教育会議の運営要綱（案）についてです。このことについて事務局から説明をお願いします。

企画課長 本日も提案する要綱は、法律に定められている事案について、条文化したものです。（資料に基づき説明）

市長 ただいま説明がありましたが、ご意見ご質問はございませんか。なければ、本案のとおり決定したいと思います。続いて2つ目の案件、教育に関する大綱案について説明願います。

指導課長 市の教育に関する最も基本的な方針を示す内容で作成しています。文章だけが羅列されているものや「推進計画」とも思えるような詳細な事柄までを記載している事例もありますが、本市では、あくまでも大綱ということで、より教育の概念がわかりやすいようにということ念頭において素案を作成しました。この大綱に沿って、さらに細かな推進計画等に落とし込むことになる予定です。なお、常総市総合計画後期基本計画及び茨城県の教育目標との整合性をとった内容としています。

※以下 資料（大綱案）により説明。

市長 今、事務局から説明がありました。大綱案について協議に入りたいと思います。ご意見をお願いいたします。

委員 教育の中で一番掲げてもらいたいのは、「夢」です。昨年の水害以降、なかなか将来の夢が持てないとか自分の夢を持つのを遠慮しているような子供たちもいるのではないかと思っています。この常総市に住んでいる限り、私たちは夢を持っていいのだと思える大綱が、今の常総市の教育大綱として必要なのだと思います。

その手段の部分が、ほっとサタデーなどの事業なのだと思います。読書教育についても、心を豊かにするだけではなく、むしろ夢を叶える読書教育という方向性が良いのではないかと思います。

また、私は水害を機にこのまちを去っていく人をたくさん見てきました。そのようなことから、郷土を愛する心を育み、この地に根付いてくれる人を育てるための大綱であってほしいと思います。このままだと、10年後20年後寂しいまちになってしまうと思います。

委員

全体的に良くまとまった大綱案だと思います。もう少し常総市らしい切り口が欲しいと感じます。今既に取り組んでいることが沢山あるのだから、大綱だから良いという考えもあるとは思いますが、私はもう少し具体的に入れた方がよいと感じました。

今ここで具体的な修正案は思いつきませんが、例えば防災意識を育てるといった記載のところなどは、もう少し常総市らしい表現の方法があるかもしれません。

委員

大綱は、法律で言えば憲法のようなもの、という説明がありましたが、そのとおりだと思います。この案は、全体的にみて大綱としてふさわしいものに仕上がっているのではないかと思います。指導課長からの説明のとおり、文章の羅列ではなく、視覚的にわかりやすくて非常に良い。先ほど「夢」というお話があったが、大綱なので、全ての部分に「夢」を絡めるのはなかなか難しいと思います。そのようなことから、大綱の一番上段のところに「夢」を付けて、それがすべて下の部分に掛かってくるという解釈も可能です。よく夢と目標を持って教えますが、身近な目標に向けて小さなことをコツコツやっていった結果が大きな夢の実現に繋がります。読書も勉強も夢の実現のためなのだという教育方針はもちろんそのとおりです。

ただし大綱上、夢という文字を強調してすべてに絡めなくてもよいかもしれない。また郷土愛については、郷土を愛しなさいと言い切ってしまうことについては慎重になるべき。子供たちが愛してくれるような市、学校、先生方になっていくということが必要で、その結果として郷土を愛してくれる人間が育っていくということが自然で望ましい流れだと思います。市の教育方針について全てを網羅的に入れ込むのはなかなか大変な中、よくできた案だと私は思います。

委員

とても見やすく、体系だっていてわかりやすくできていると思います。細かい点については、皆さんがおっしゃるように、「夢」がもっと入っていても良いのではないかと思います。また、防災意識については、先日の災害を忘れないように意識するという内容が入っているので良いと思います。さらに、私はスポーツ少年団の指導に関わったことがあるのですが、これはどこの市でもやっていることではあります。もっとバックアップしていくと良いのではないかとと思うので、その辺が入れてもらえると良いと思います。

教育長

スポーツ少年団という具体的な団体への支援ということについては、「活動団体への支援」とすれば、そこで様々な団体の活動が網羅できます。また、常総市らしさをどのようにして表現するかということは私もずっと考えていたことですが、その常総市らしさという部分を表すのが、一番上の「夢と生きる力を持ち・・・」の部分です。これは、常総市の教育の大きな目標です。常総市らしさを表現するが故に、この大綱に運営方針や各学校で作る今年度の施策で表すべき細かなものを掲載してしまうと、これは既に大綱ではなくなってしまいます。大綱とは常総市の教育の一番上位のものであり、それを見た時に、常総市の教育とはどんなものなのかが一目でわかるものであるべきです。

例えば、市長が他自治体の人から常総市の教育について聞かれた時に、一言で表現が出てくるようなものでなければなりません。そういうことから、この案にある「夢と生きる力を持ち・・・」などは、常総市の大きな教育目標として大綱に掲げる表現としてふさわしいのではないかと思います。

大綱では、あまりにも常総市独自の色を出して偏ってしまうことは良くないと考えます。それは大綱の下層の段階でやるべきことです。例えば、年度計画や3年計画の中で他市がやっていない教育施策を実施することについて記載するなら良いと思いますが、教育の大きな目標となるべき大綱においては、大きくかたよることは出来ないと思います。そのようなことから、この大綱案には、最大限常総市の色を出す表現として、大上段に「夢」と「郷土」という言葉を使いました。

最後に、学校教育の中に、人権教育について加えてあります。私は、(先生方に)一人一人を大切に教育に力を注いでほしいと常日頃から言っています。特別支援も福祉教育もすべて一人一人を大切に教育といえるわけで、それらをすべて含めた言葉として人権教育という言葉で表現しても良いと思い、そのように記載しました。

委員

昨年長岡市を視察しました。長岡市は、特徴が教育に出ていると感じました。長岡市は歴史的に他から侵略を受けてきた歴史があり、これらの歴史を背景に、非常に個性的な色が出ているように見えました。今、具体的な案は思い浮かびませんが、常総市も歴史という切り口で何か取り入れるべきものがあるかもしれないと感じます。

また、一人一人を大切に教育という意味を込めた「人権教育」が大綱に入っているのは非常に良いと思います。教育において最も重要なことであり、先生方と行政がこの考え方をしっかり持っていれば、近年報道で騒がれているような学校問題は決して起こらないと思います。

委員

人権教育、一人一人を大切に教育という内容が入っているのは、素晴らしいと思います。なお、細かな点ですが、防災意識という文言については、最近よく使われる言葉を使って、危機管理意識と言い換えても良いのではないかと思います。

委員 郷土愛のところで使われている表現「ふるさとを愛し」は、「ふるさとをよく知り」のほうが良いと感じました。市の歴史であったり、市の現状であったりをよく知り、そのうえで郷土愛を育てていこうという流れの方が良いと思います。

教育長 委員の皆さまにも市長にも、今日初めてこの大綱案をご覧くださいわけなので、この場で決定するというふうには考えておりません。ただし、これから何カ月も議論して決定するということでは教育が先に進まないのので、細かな表現については別として、大筋の流れについてこの案でご了解をいただき、その後は定例の教育委員会などで委員の皆さんに何度か見てもらい、精査していき、もう 1 回総合教育会議を開いてそこで決定という進め方で考えたいと思います。

市長 大綱の大筋としては、原案どおりで良しとし、細かな字句の修正については今後精査し加除修正するということで決定したいと思います。よろしいでしょうか。

次に、次第の「その他」について、何かありますか。
(教員の時間外勤務の経常化の問題等について意見交換。)

市長 ほかになければ、これで本日の会議を終了いたします。

以上